

# 設置説明書

## IH クッキングヒーター

<赤外線式換気連動対応>

トッププレート幅 75cm

トッププレート幅 60cm

品番 KZ-BNF37S  
KZ-BN37S

KZ-BNF36S  
KZ-BN36S

# Panasonic®

●設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。特に「安全上のご注意」(下記)は、設置前に必ずお読みください。

●ガス機器から付け替える場合

ガス事業者に連絡しないでガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは法令により規制されています。

事前にガス事業者へ連絡してください。また閉栓はガス事業者に依頼してください。

●排気接続のビルトイン電気オープンレンジを設置する場合は、必ず電気オープンレンジの設置についての説明書に従ってください。

●試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。

●本機は約30 Aを消費するため、平均的なご家庭の場合で、総電気容量を約60 A以上にするをおすすめします。60 A未満の場合は、総電気容量を増やすか、本機の総消費電力を4800 Wに切り換えるをおすすめします。

# 1 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

## 警告

●電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う  
(接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因)

●200 V・30 A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する  
(この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因)

●アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う

●アースを確実に取り付ける  
(漏電すると、感電の原因)

 ●絶対に分解・修理・改造は行わない  
(火災・感電・けがの原因)  
・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど。

●トッププレートに強い衝撃を加えない  
・上に乗ったり、工具・鍋などを落としたりしない  
・コーナー部を強い力で押さえない  
(万一ひびが入ったり割れたりすると、感電や過熱・異常動作の原因)

●試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない(やけどの原因)

## 注意

 ワークトップは、耐熱材料を使う  
熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の物

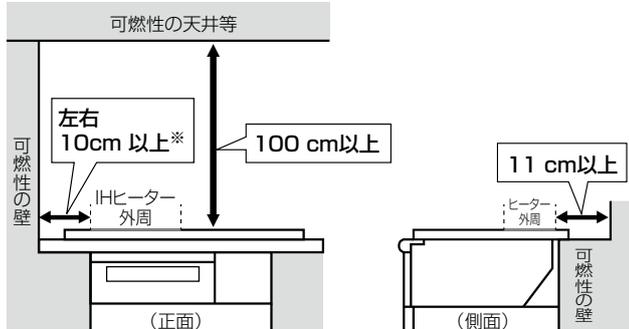
(耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因)  
※ニス引きのものは変色するため使わない。

# 2 設置場所 / 外形寸法

## 壁からの距離

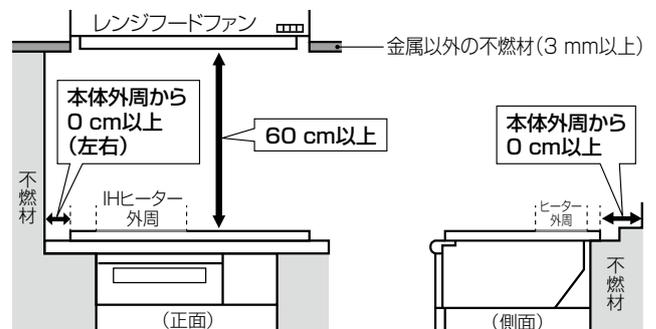
火災予防条例、電気設備に関する技術基準に従って設置してください。  
〔消防法 基準適合 組込形 (特定安全IH調理器適合品)〕

### ■可燃性の壁 (防火構造壁以外) の場合



グリルを引き出すため、前面は60 cm以上開放してください。  
※トッププレート幅75 cmの場合は、左右13 cm以上。

### ■レンジフードおよび不燃材の場合



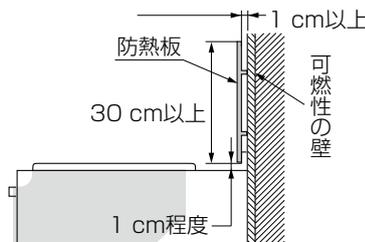
グリルを引き出すため、前面は60 cm以上開放してください。

※レンジフードの設置ずれ(左右・前後)が大きいと、換気連動が働かない場合があります。  
※換気連動モデルを近接して複数設置されると、機器の信号どうしが影響し、誤動作する場合があります。

### ■上記の距離を離せない場合

#### 防熱板を取り付ける

- 背面に取り付ける場合は、後ろIHヒーターを中心に、左右の位置をそろえてください。
- 本体の側面に取り付ける場合も、右図と同じ距離を設けてください。

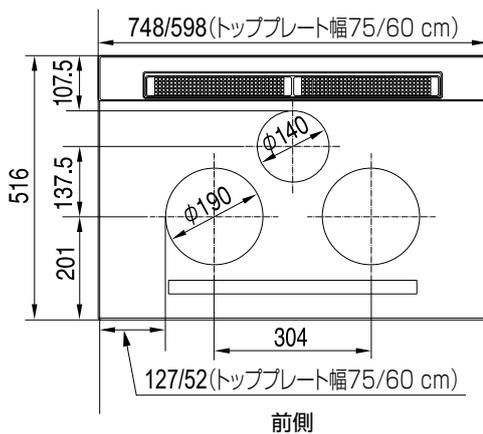


#### お願い

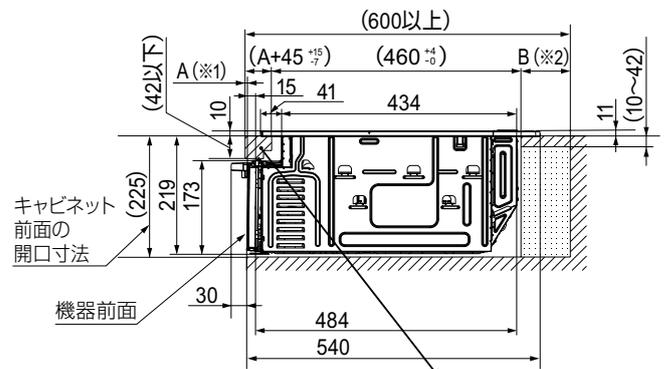
- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属(メタルラスなど)に接触しないようにしてください。  
(電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています)

## 外形寸法図

### ■平面図



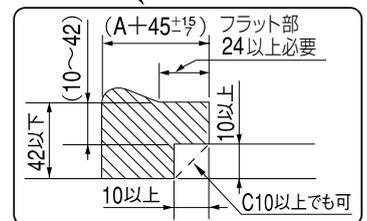
### ■側面図



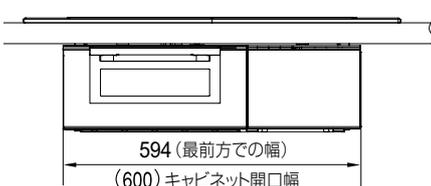
※1: A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面(機器前面)との差です。

※2: B寸法(後方スペース)80 mm以上あれば、パナソニック(株)製の露出コンセント(WK36301B)が使えます。

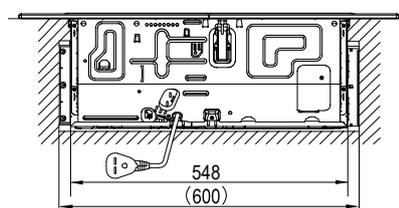
●コード長さ: 約0.7 m



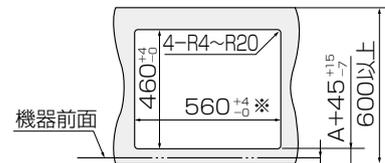
### ■正面図



### ■背面図



### ■取り付け穴(ワークトップ開口寸法)



※横寸法は560<sup>+4</sup><sub>-0</sub>まで対応可能。

# 3 電気工事/同梱部品の確認

## 専用回路の設置

### ■ブレーカー付き単相200 V・30 Aの専用回路

- 三相200 V (動力電源) は使わない (故障の原因)

### ■屋内配線用電線

単線直径2.6 mm以上または、より線5.5 mm<sup>2</sup>以上

※ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合はそれに従ってください。

## 漏電遮断器の設置

### ●推奨漏電遮断器<パナソニック(株)製>

品番	BJS3022N (HBモジュール) または BSHE23022 (コンパクトタイプ)		
定格電流	30 A	感度電流	15 mA

※上記以外では、IHクッキングヒーターに適さないものがあります。

## コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。(コンセントの一極接地用に配線してください。)

### ■コンセントの種類・位置

#### ●推奨コンセント<パナソニック(株)製>

	IHクッキングヒーター 200 Vコンセント	電気オープンレンジ	
		100 Vコンセント	200 Vコンセント
定格	単相250 V・30 A (接地2P)	単相125 V・15 A (接地2P)	単相250 V・20 A (接地2P)
品番	(埋込型) WF3630B または (露出型) WK36301B 	(埋込型) WN1031 	(埋込型) WN1932 または (露出型) WKS294 

#### ●コンセントの取り付け位置

キッチン 高さ	IHクッキングヒーター コンセント ①寸法	電気オープンレンジ コンセント ②寸法
850 mm	700 ± 15 mm	商品によって異なります。 詳細は電気オープンレンジの設置に ついての説明書をご覧ください。
800 mm	650 ± 15 mm	

※据置用枠を使う場合は、据置用枠に添付の説明書をご覧ください。

### ■仕切り板より下にコンセントを設置する場合

(仕切り板のあるキャビネット)

ホールソーなどを使い、φ60 mm以上φ100 mm以下の穴を開ける。  
※穴を塞ぐときは、シーリングプレート(あっせん品)を貼り付けてください。

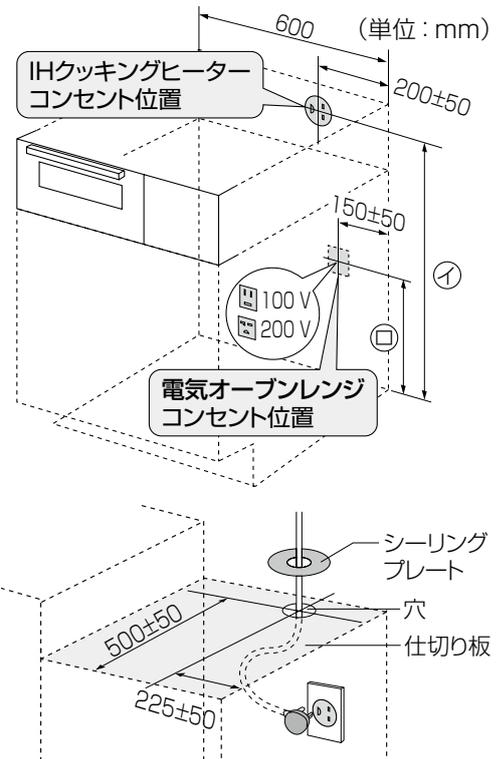
#### ●シーリングプレート 品番: KZ-042 (外径約140 mm、内径約30 mm)

「お買い求め先」にお問い合わせください。

※詳細はシーリングプレートに添付の説明書をご覧ください。

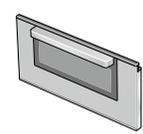
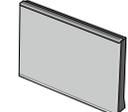
#### お願い

- 電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。
- コンセントは必ず固定してください。  
(接続・固定が不完全な場合、漏電、火災の原因になります。)



## 同梱部品

※必ず設置前にご確認ください

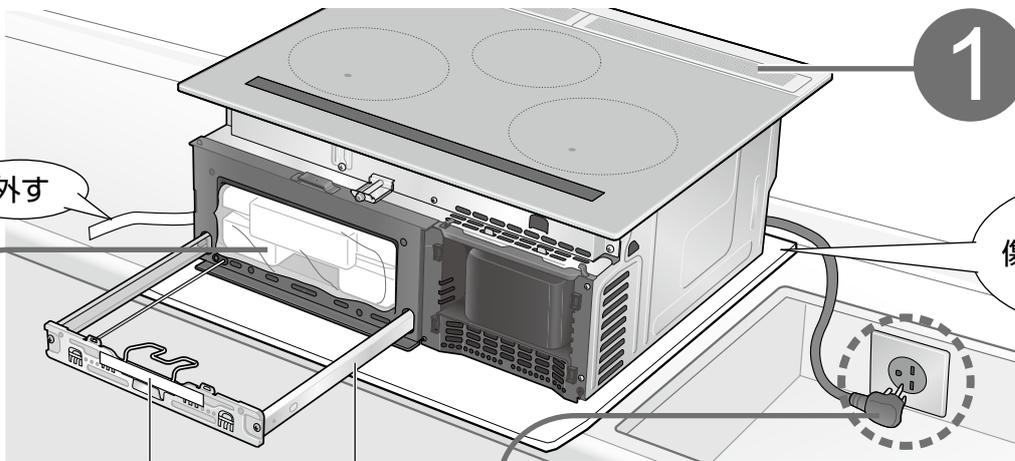
グリル皿: 1個 	扉: 1個 	サイドカバー: 1個 	フィルター: 1個 	前カバー: 1個 	前飾り枠: 1個 (高さ10 mm)  ※本体とワークトップの間隙が大きいときは高さ24 mmのタイプをあっせんしています。(P.5)
---	--	---	--	--	--

※排気パネル、排気口カバーは製品にセットされています。

# 4 本体の設置

※金属端面が多いため、けがをしないように注意してください。

## ①電源プラグを差し込み、本体をはめ込む



1 排気パネル、排気口カバーを外す

ワークトップに傷を付けないよう当て板を敷く

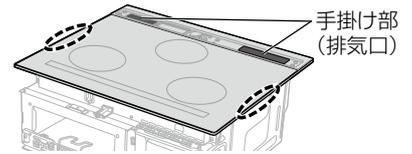
● グリル皿ホルダー止めテープは外さない。 スライドレール

## 2 グリルの包装材を外し、グリル皿を取り出す

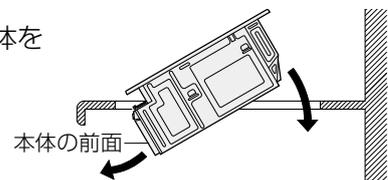
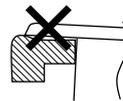
- ①グリル止めテープを外し、スライドレールを引き出す。
- ②包装材を外し、グリル皿を取り出す。(グリル皿の包装材も外す)
- ③スライドレールを戻す。

## 3 電源プラグを差し込み、ワークトップに本体をはめ込む

- フレームの左右部分を持って、本体をはめ込む。(手を離す時は手掛け部に持ち替える)



- 本体の前面を挿入して、全体をはめ込む。



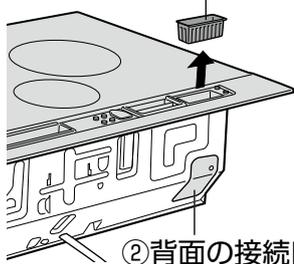
※膨らみに乗り上げないように、フラット部にセットする。

- 前面をワークトップに当てたり、グリル皿ホルダーが引っ掛からないように注意する。(スイッチが破損したり、グリル皿ホルダーが変形する原因)
- 本体底面とキャビネットの間に、電源コードを挟まない。(本体が浮き、隙間がぼらつく原因)
- フレーム下面とワークトップの隙間が、ほぼ均一かどうかを確認する。※均一でない場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。

### 排気接続の電気オープンレンジを設置する場合

IHクッキングヒーターに、電気オープンレンジ付属の「排気筒」を接続する作業が必要です。

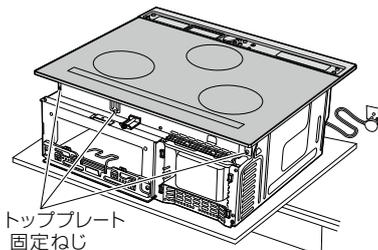
- ①排気口カバーを外す。(使用しません)



- ③IHクッキングヒーターの排気口から「排気筒」を挿入して、電気オープンレンジの排気口に接続する。

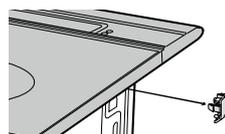
※IHクッキングヒーターと電気オープンレンジの前面の位置をそろえてください。  
※詳細は電気オープンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

### ■トッププレート固定ねじの締め直し方



- ①本体を取り出し、トッププレート固定ねじを緩める。
- ②トッププレート手前の中央を強く押しながら、中央のねじを締め直す。(続けて左右も締め直す)
- ③再度ワークトップに本体をはめ込み、隙間がほぼ均一であることを確認する。

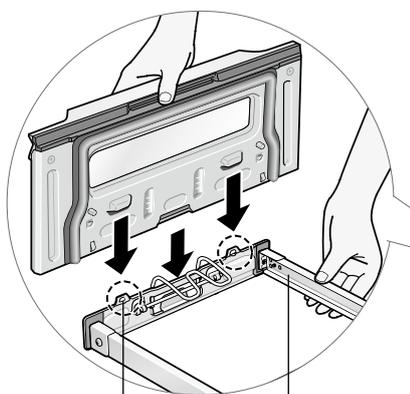
### ■取り付け穴横寸法が550 mmのとき



- スペーサー(左右2か所)をラジオペンチ等で外す。

## ②グリルの扉を取り付ける

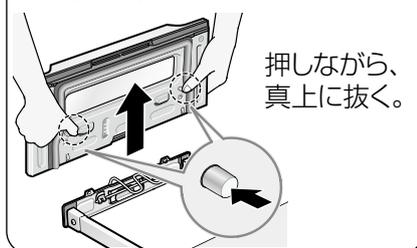
### 1 扉を取り付ける



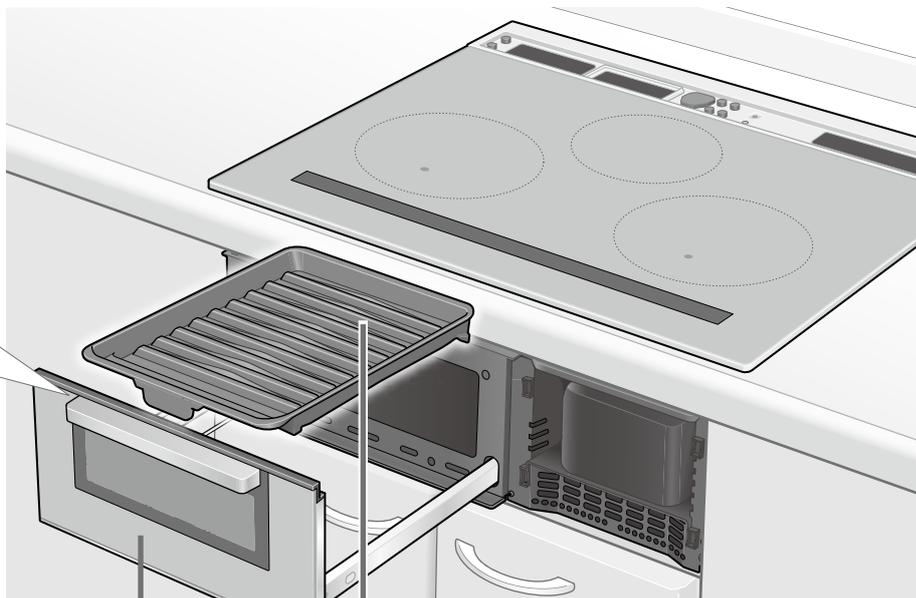
スライドレール

グリル扉取り付けツメを、3か所同時に奥まで確実に差し込む。  
(中央のツメはスライドレールの外側にあります)

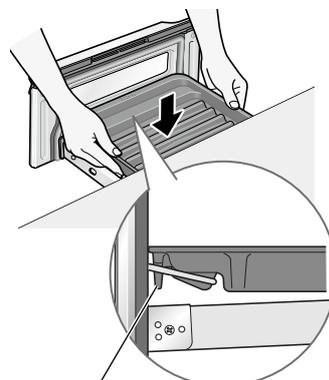
#### ■扉を外すとき



押しながら、真上に抜く。



### 2 グリル皿をスライドレールに載せる



●グリル皿の穴をグリル皿ホルダーに落とし込む。

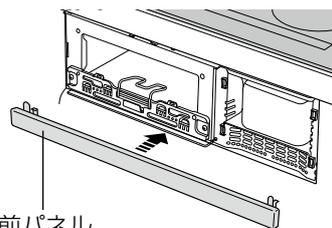
### 3 閉める

## あっせん品 (前パネル・前飾り枠) について

### ■キャビネット前面の開口寸法が、標準 (225 mm) より大きい場合

前パネルを取り付ける。

隙間高さ	前パネル (シルバー) 品番
25 mm用	AD-KZ043S-25
50 mm用	AD-KZ043S-50
80 mm用	AD-KZ043S-80



前パネル

※取り付け方は、前パネルに添付の説明書をご覧ください。

### ■本体とワークトップの隙間が大きい場合

高さ 24 mm の前飾り枠を取り付ける。

●品番：AD-KZ045E

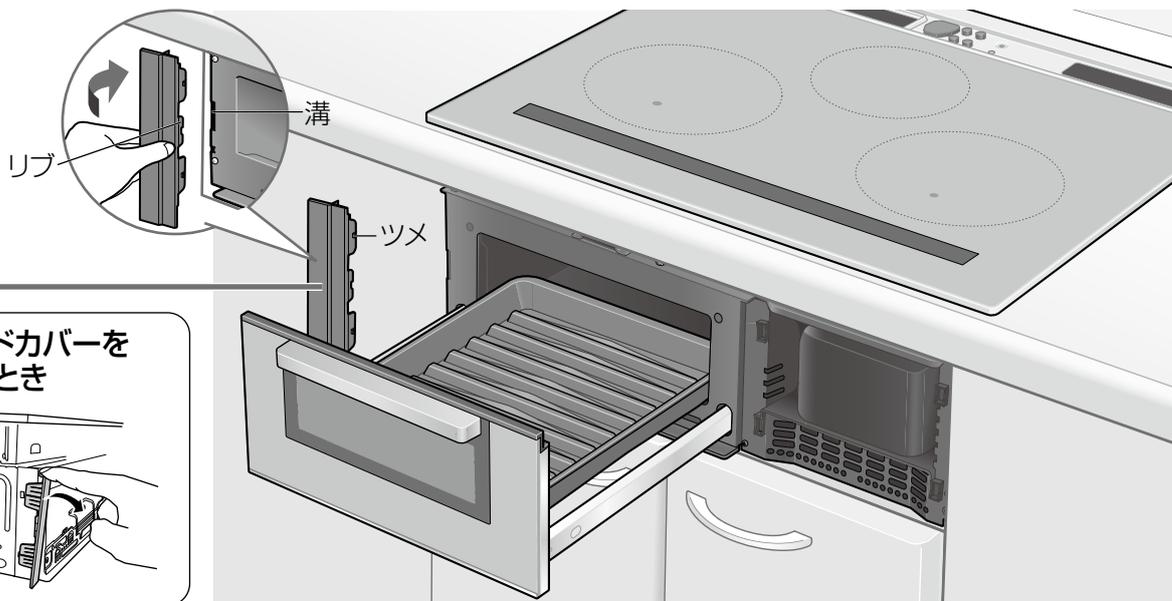
(2021年9月現在)

お問い合わせ先：パナソニック リビング株式会社  
システム部材開発センター (06) 6942-6202

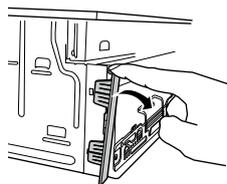
### ③ サイドカバー、フィルター、前カバーを取り付け、本体の位置を調整する

#### 1 サイドカバーを取り付ける

- サイドカバーのリブを溝に合わせ、外側に回すように差し込む。(2か所のツメが本体側面の穴にはまる)
- ※無理にまっすぐ押し込むと、ツメが割れる原因
- キャビネットの側面に乗り上げていないことを確認する。



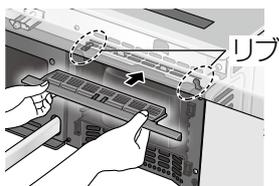
#### ■ サイドカバーを外すとき



#### 2 フィルター、前カバーを取り付ける

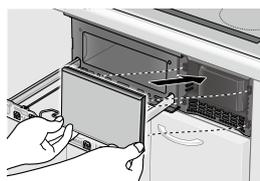
##### ■ 取り付け方

##### ① フィルター



- リブ(2か所)に沿って奥まで差し込む

##### ② 前カバー



- 奥まで差し込む

#### 3 本体の位置を調整する

- ① キャビネットと本体左右の間隙を均一にする
- ② キャビネットの扉面に本体前面を合わせる  
※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。はみ出した場合は、本体を少し持ち上げて、薄いへら状のもので軽く押し込む。
- ③ 調整後は、いったん扉を外す(P.5) (前固定金具を締め、前飾り枠を付けるため)

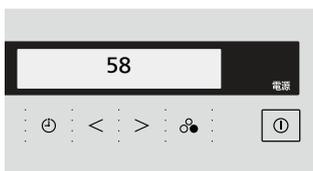
#### ■ 総消費電力の切り換え(4800 W/5800 W)

出荷時は5800 Wに設定しています。

- 必ず契約容量ブレーカー(契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー)をご確認いただき、総電気容量が60 A未満の場合は、総消費電力を4800 Wに切り換えることをおすすめします。

##### 電源スイッチを入れ

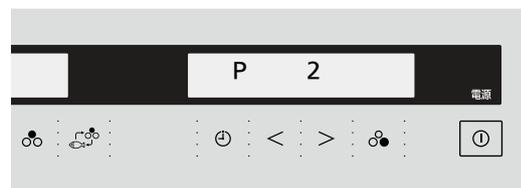
- ① 5秒以内に後ろIH操作部の と を同時に押し、さらに5秒以内に左IH操作部の と を同時に押す(58 または 48 を表示)
- ② 右IH操作部の < で切り換える(58 ⇄ 48)
- ③ 電源スイッチを切る(切り換え完了)



#### ■ 換気連動(赤外線コード)の切り換え

下記の2種類から選択できます。  
(出荷時は P 2 )

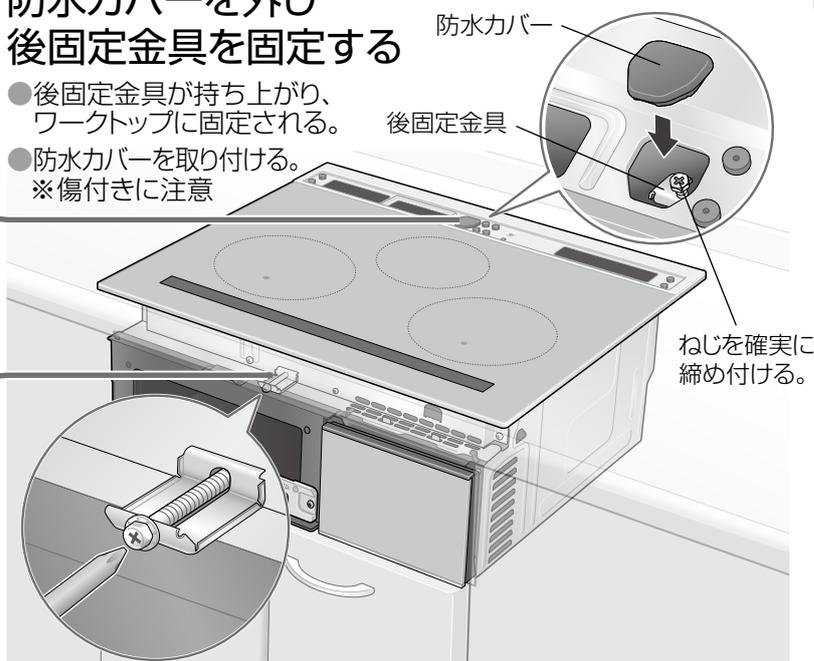
- P 2 : 家製協フォーマット 36.7 kHz (パナソニックレンジフード)
- E 14 : NEC フォーマット 38.0 kHz (その他のレンジフード)



## ④ 固定する

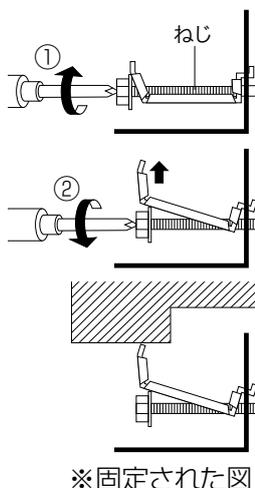
### 1 防水カバーを外し 後固定金具を固定する

- 後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定される。
- 防水カバーを取り付ける。  
※傷付きに注意



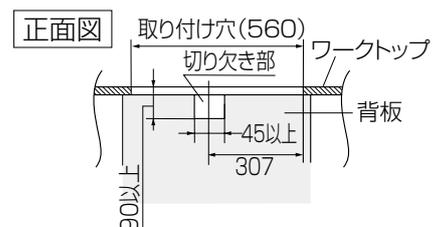
### 2 前固定金具を固定する

- ① ねじを緩めて、前固定金具を緩める
  - ② 前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する
- ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。  
※先の長い(約70 mm以上)ドライバーをお使いください。
  - 固定後は、次のことを確認する。
    - ・ フレームを押しして動かないこと
    - ・ トッププレートの左右で傾き・隙間がないこと
 ※傾いている場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。(P.4)

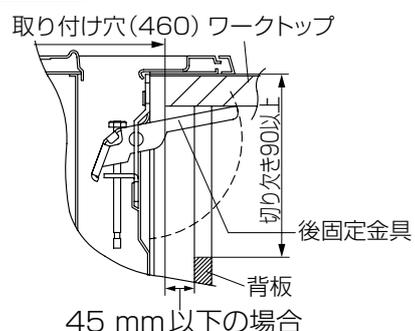


### ■ワークトップの後方に背板がある場合

背板位置がワークトップの取り付け穴から45 mm以下の場合、後固定金具が通るように切り欠きを設ける。

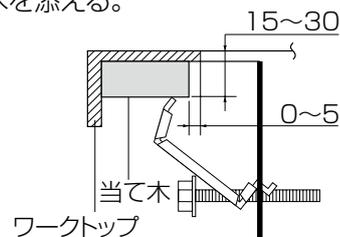


#### 側面図



### ■ワークトップの厚みが薄い場合

当て木を添える。



- 設置完了後の作動確認④で、レンジフードが作動しない場合は、コードを切り換えて再度確認してください。

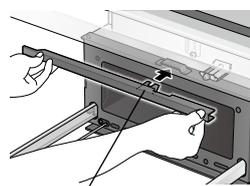
電源スイッチを入れ

- ① 5秒以内に後ろIH操作部の **⏻** と **<** を同時に押す
- ② ①から5秒以内に左IH操作部の **⏻** と **<** を同時に押す (P 2 を表示)
- ③ 右IH操作部の **<** **>** で切り換える (P 2 ⇄ E 14)
- ④ 右IH操作部の **⏻** を押す (切り換え完了)
- ⑤ 電源スイッチを切る

## ⑤ 前飾り枠・扉・排気口カバー・排気パネルを取り付ける

### ① 前飾り枠を取り付ける

#### ■取り付け方

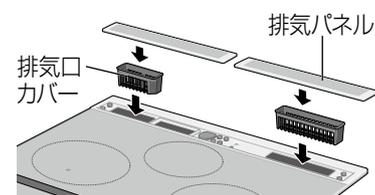


- 凸部を奥まで差し込む

### ② グリルに扉を再セットし、閉める

### ③ 排気口カバーを取り付ける

### ④ 排気パネルを取り付ける



# 5 設置完了後、確認する

## □ 確認項目

□ 包装材料の取り外し

● 部品止めテープ(グリル・グリル皿ホルダー・排気パネル)・グリル庫内包装材など

□ 同梱部品などの取り付け

● 前飾り枠・前カバー・フィルター・グリル(グリル皿・扉)・サイドカバー  
● 排気パネル・防水カバー・排気口カバー

□ 外観

● 本体が前後左右に傾いていないこと ● トッププレートの左右に傾き・隙間がないこと  
● トッププレートが汚れていないこと  
● フレームが浮いていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出していないこと

□ 電気工事

● 電源電圧が単相200Vであることを確認する  
※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときに「H20」を表示します。

▶ 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。

● アースが接続されていること ● 漏電遮断器が設置されていること  
● 契約容量ブレーカーを確認すること

□ 作動

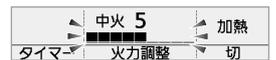
1 電源スイッチを入れる

▶ 「電源」表示点灯。

2 各ヒーターの作動を確認する

- 左IHヒーター: ( < > → )
- 右IHヒーター: ( < > → )
- 後ろIHヒーター: > または で「後ろIH画面」にし、

▶ 表示の点滅を確認する。



3 グリルは ( のときは < で「グリル画面」にし > (手動を選択) → を押し、作動を確認する

▶ しばらくすると庫内が熱くなる。

<赤外線式換気連動対応のレンジフードの場合>

4 レンジフードとの「連動/非連動」を確認する(出荷時は「連動」(「換気連動の切/入」・「入」に設定))

- 連動: ①各ヒーターの操作ボタンを「入」にする。 → レンジフードが作動する。  
②すべてのヒーターの操作ボタンを「切」にする。 → レンジフードが停止する。  
(レンジフードによっては数分間残置運転して停止する)

- 非連動: ① < > で「設定」を選び で決定。  
② < > で「換気連動の切/入」を選び で決定。  
③ < > で「切」を選び で決定。  
④いずれかのヒーターを入れる。 → レンジフードが作動しないことを確認する。  
・確認後は、同じ操作で「換気連動の切/入」の設定を「入」に戻してください。

※「換気連動の切/入」の設定が「入」になっているのに、レンジフードが作動しない場合  
赤外線コードを切り換えて確認してください。(P.6)  
→それでも連動しない場合は、お買い求め先またはお問い合わせ窓口(取扱説明書ご参照)にご相談ください。

■電気試験後は

- 必ず、各ヒーターと電源スイッチを「切」にしてください。
- 取扱説明書・設置説明書・レシピ集(もっとIH!おうちメニューが増える本)・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了  
確認者印

設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2021

ZY16-L60  
S0921Y0